



学校だより NO. 953
令和5年12月 1日
帯広市立明和小学校
文責 校長 新川 和範

明るく豊かな心をもつ子ども 和やかで思いやりのある子ども のびのびとよく考える子ども こん気よくがんばれる子ども

学年を超えた活動を活発に行っています

本校では、2学期の行事が一段落したこの時期に、たくさんの異学年交流活動（縦割り班活動）に取り組んでおります。

異学年交流活動は、学年としての横のつながりを超え、より多くの仲間と人間関係を広め、深めていく機会であり、普段の授業では得ることのできない体験ができる活動であると考えております。

そのような考えのもと、今年度は、児童会活動や学習活動において、様々な工夫をしつつ取り組んでおります。

上級学年は、委員会活動やクラブ活動の三役として活躍する場面が多く現れます。また、下級学年の縦割り班活動や交流活動では、学級のほとんどの児童がリーダーとして関わることとなります。そのような活動の中で、自信が芽生え、自己有用感が育つとともに、未来を切り開く力が身に付いていくと考えております。

また下級学年は、身近なお手本となる上級学年の姿から、集団での活動の意義や楽しさを理解するとともに、そのような存在になりたいというあこがれをもち、進級に向けての自覚が芽生えると期待できます。

今回は本校のたくさんの活動の中から、いくつかの活動について、以下紹介します。

(1) あいさつスタンプラリー

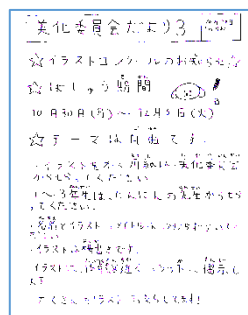
あいさつ勇者を目指した児童会書記局主催の取組です。内容は、色々な場所に待機している書記局のみなさんに会ったら、お互いにあいさつをするというものです。



今回は、どの学年も70%以上の方がしっかりあいさつできることを目指すと具体的な数値目標を掲げて取り組みましたが、昼の放送で「どの学年も目標を達成できました。」と成果を発表し、あいさつ勇者を讃えていました。

(2) イラストコンクール

美化委員会主催の取組で、広くイラストを募集し集まったイラストを体育館横の廊下に掲示し、お互いの作品を鑑賞するという取組で、現在も募集中です。締め切られた後のイラスト作品展が今から楽しみです。



(3) ドッジボール大会

保体委員会主催による企画のドッジボール大会。保体委員会から出されたお知らせ(おたより)には、目的「異学年との交流を大切にする。」と明記されているなど、異学年交流活動の意図が活動している委員に浸透していることがわかります。大会は3日間の中休みにトーナメント方式で行われ、低学年、中学年、高学年の各“勇”勝チームが決定しました。



(4) 国語「みんなで楽しく過ごすために」

6年生の国語の学習にあるこの教材は、1年生と交流する目的や条件を考えながら話し合いを進め、実際に異学年交流活動を行うものです。



当日は、1年生が楽しめるだけでなく、6年生も楽しむことができるような遊びを模索したり、1年生が理解できるように準備や説明を行ったりするなど、6年生のみなさんが、色々なことを考え準備してきた様子が随所に見られました。その結果、1年生も6年生も楽しむことができた、貴重な一時となりました。

学校周りの環境を整える取組～落ち葉拾い、冬支度など

(1)樹木からの落ち葉について

秋の深まりとともに、本校の樹木の落葉のピークが終わろうとしています。



落葉につきましては、近隣の皆様にご迷惑がからないよう、職員が連日落ち葉拾いを行ってまいりましたが、近隣の皆様も飛んできた葉を回収していただいたり、激励いただいたり、ご理解、ご協力いただきまして、大変ありがとうございました。



引き続き、樹木の管理につきましては、関係機関と連携を取りながら対応してまいります。

(2)冬支度について

先日、ついに積雪が見られましたが、それまでということで、スケートリンクの設計や学級園の冬前の土起こしを行いました。また今後の降

雪時における、児童の安全確保に対して適切に対応できるよう、関係機関と打ち合わせを行ったり、除雪体制について確認を行ったりしました。

登校時の児童玄関開錠時刻につきましては、安全管理上、変更することは難しい状況ではありますが、今年度も既に悪天候時や大きな行事の際には、開錠時刻を繰り上げるなどの対応を行っておりますので、今後も同様な対応で児童の安全を確保してまいります。

保護者の皆様におかれましても、児童の登校時刻につきましては、引き続きご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



児童の健やかな成長を願って

帯広市では、児童生徒の安心した教育環境を整えるため、国や北海道の法律や条令、方針に基づき、関係者が一丸となって「いじめ」のない学校づくりに取り組んでおります。その一環として、本校においても、年間3回のいじめアンケートを実施し、実態の把握と生徒指導を進めております。その際、「嫌なことを言われた」、「いじわるをされた」と回答した児童に対して寄り添い、適切な指導を行っております。何か心配な点やご不明な点等ございましたら、担任までお知らせください。

ベルマークの取組について

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい。」そんな願いをこめて1960年に始まったベルマーク運動。PTAなどのボランティアで生み出された資金（ベルマーク預金）で、学校の設備や教材をそろえることができる運動ですが、本校も948号で紹介いたしました通り、ベルマーク預金を使い、教育活動に必要な教具を購入いたしました。

先日、保護者の方から新たなベルマークのご提供がありました。本当にありがとうございます。引き続きベルマーク運動を活用させていただきたいと考え、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ベルマーク集めと提供をお願いしたいと考えております。

合わせて、学校で回収いたしましたベルマークを切りそろえる、分類するといった軽作業を保護者や地域の皆様と学校とで取り組んでいきたいとも考えております。作業は大変簡単なものですし、個々人の都合の良い時間にご協力いただくことが可能です。

このような作業ボランティアを募集いたしますので、詳細を知りたい方や参加を希望される方は、小学校（34-5615）までご連絡ください。



活躍する明和
勇者のみなさん



上段：帯広明和少年団（北海道新聞社杯ミニバスケットボール大会兼 北海道ミニバスケットボール大会十勝地区予選大会 第3位）

下段： さん
（第1回日高町教育長杯
小学校バドミントン交流大会
男子C 第3位）